

「多田体制」2年目の課題と進路

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）の全国大会が6月6日に福岡県、通常総会が同5日に熊本県でそれぞれ開かれる。昨年の総会で第10代会長に就任した多田計介氏（石川県・ゆけむりの宿美濃荘社長）に就任2年目の方針を語ってもらった。新法が6月15日に施行され、本格化する民泊、深刻化する人手不足と、直面する諸問題に一つひとつ真摯に対応する姿勢を強調した。

――聞き手 日本本社・森田 連 会長就任から1年。これまでを振り返って。

多田 あつという間でもあり、長くもあつた1年だった。就任は6月だが、選挙結果が出たのは8月。就任までの約半年間は前任者からの引き継ぎだけで、組織としての問題を整理し、対処法を考えるなど、就任に向けた準備を進めていた。

――まず考えたのが組織改革。コンセプトは「見える化」と「情報共有」だ。喫緊の問題に対応する五つの専門部会を、従来の委員会を再構築する形で設け、役員らの役割分担を明確にするともに、詳しい活動内容を冊子などにまとめ、都道府県組合の理事長らにその都度報告した。

――確かに民泊はわれわれにとってアゲインストだが、政府と真向から対立するものではないと申し上げたところ、ご理解をいただき、われわれへの対応もだいぶ変化した。

――昨年夏の編議連とのタビには多くの先生方に足をお運びいただいたし、今年の春も70数人、編議連の7割の先生方にお越しいただき、大いに盛り上がった。全国の都道府県組合理事長もその場にいらした。これから、様子は分かるかと思う。この1年で関係修復の方向性を色濃く出せたと思う。

――民泊新法（住宅宿泊事業法）が間もなく施行される。今後、この問題にどう対処するか。

多田 私たち宿泊業には国の厳しい規制が課せられていて、しかしそのために高いサービスオリエンティを維持し、安心安全な環境づくりと地域社会との融和も図られている。一方、民泊施設が増加するにつれて、施設管理者が不在なところでは事件や事故が多発する恐れがあり、地域住民が安心して暮らせなくなっている。

――民泊新法に關しては、何をも反対するのではなく、認めるべきところは認めて、細い運用面で問題があると指摘することも、われわれ自身の利益を追求するのではなく、地域住民の生活を守ることを大前提に法律を作ったという要望をした。

――民泊がわれわれの経営を圧迫するのは間違いないが、全面対決して、それで勝ったとしても失うものの方が大きいと考えた。業界のエゴを押し通しても世間は納得しないのだ。

――民泊は確かに撤退してヤミ民泊は残るが、民泊を運営する人に向けては、サービスオリエンティを低下させないための研修会を開催したい。

――民泊運営を通じて宿泊業に目覚める人もいて思う。そういう人たちに、旅館営業の許可を取る上での法律上のハードルも下がったので、ぜひ私たちの仲間に入ってもらいたいと思う。私たち全旅連は賛同を受け入れるし、単に門戸を開くだけでなく、組織のメリットを感じていただけるような取り組みをしたい。

――人口減少という背景から考えると、日本人の労働力だけを考えると、外国人の労働力に頼るしかない。ただ、移民政策を取っていないのが国では、この方法は時間がかかる。しかし時間を待っているわけにはいかない。海外の労働力を供給している機関との情報交換や、具体的にどう取り組むかといった調査研究を進める必要がある。

――外国人労働者を確保するためのさまざまな制度作りや既存制度の見直し、さらには業界のイメージアップ戦略も必要だと思う。

――対処療法としては、国内の労働力の確保。労働市場を世代などに細分化し、それぞれに有効にアプローチすることだ。

――例えば高齢者、70歳くらいでも元気な方がたくさんいらっしゃる。8時間と体力がもたないが、2〜3時間ならやれるという人が結構いる。漁業に従事する人は、時季や日によって空いている時間が結構あるという。経営者は労務管理が煩雑になるが、労働力を確保するには、それぐらいしなければならぬ。

――全旅連は業務の標準化や研修といった個々の旅館では取り組みにくいことを行いたい。

全旅連全国大会特集

3〜5面

民泊新法に關しては、何をも反対するのではなく、認めるべきところは認めて、細い運用面で問題があると指摘することも、われわれ自身の利益を追求するのではなく、地域住民の生活を守ることを大前提に法律を作ったという要望をした。

――民泊がわれわれの経営を圧迫するのは間違いないが、全面対決して、それで勝ったとしても失うものの方が大きいと考えた。業界のエゴを押し通しても世間は納得しないのだ。

――民泊は確かに撤退してヤミ民泊は残るが、民泊を運営する人に向けては、サービスオリエンティを低下させないための研修会を開催したい。

――民泊運営を通じて宿泊業に目覚める人もいて思う。そういう人たちに、旅館営業の許可を取る上での法律上のハードルも下がったので、ぜひ私たちの仲間に入ってもらいたいと思う。私たち全旅連は賛同を受け入れるし、単に門戸を開くだけでなく、組織のメリットを感じていただけるような取り組みをしたい。

――人口減少という背景から考えると、日本人の労働力だけを考えると、外国人の労働力に頼るしかない。ただ、移民政策を取っていないのが国では、この方法は時間がかかる。しかし時間を待っているわけにはいかない。海外の労働力を供給している機関との情報交換や、具体的にどう取り組むかといった調査研究を進める必要がある。

――外国人労働者を確保するためのさまざまな制度作りや既存制度の見直し、さらには業界のイメージアップ戦略も必要だと思う。

――対処療法としては、国内の労働力の確保。労働市場を世代などに細分化し、それぞれに有効にアプローチすることだ。

――例えば高齢者、70歳くらいでも元気な方がたくさんいらっしゃる。8時間と体力がもたないが、2〜3時間ならやれるという人が結構いる。漁業に従事する人は、時季や日によって空いている時間が結構あるという。経営者は労務管理が煩雑になるが、労働力を確保するには、それぐらいしなければならぬ。

――全旅連は業務の標準化や研修といった個々の旅館では取り組みにくいことを行いたい。

民泊条例「業界運動の成果」各地で制定

ヤミ民泊追放へキャンペーン展開

――一定の目的に「観光立国の実現推進」が加わるというが、どういう意図か。

多田 全旅連は生活衛生団体で、観光振興を行う団体ではない。観光を語らないことはなかったのだが、私が青年部時代は「その話は国連（国際観光旅館連盟）や日観（日本観光旅館連盟）でしなさい」と先輩から軽蔑的な感じがした。たまたま、国が観光を成長戦略の柱と位置付け、われわれにも国なにか観光に関するさまざまなアプローチが来るようになった。

――その激動の中に私たちは身を置いている。

国が「ミットジャパンキャンペーン」を打ち出し、成長戦略の柱として観光力を入れる。われわれも当然、観光力に目を向けなければならぬ。宿泊業の成長を支える屋台骨の一つとして、大義を持つて取り組まなければならない。今回の定款改正がその意識を考える一つのきっかけになっているし、われわれはこのチャンスを最大限に生かそうと思う。

――国とわれわれ車の面輪になつて観光政策を進める。全旅連の最大の強みは組織力。全国、津々浦々に下部組織を有し全国的に活動ができる。国の理想を形にするのはわれわれ全旅連だ。

――業界にとって人手不足が喫緊の課題。どう対処するか。

多田 この問題は第四部会「人材不足対策・職場環境改善対策委員会」で研究してもらっている。単に人手が足りないというだけではダメ。どういう仕事で足りないのかを「見える化」することが大事だと部会から報告を受けている。すぐに取組める対処療法で、根本的解決につながる根治療法の一つに分けて考えようという方向性も出てきている。

――人口減少という背景から考えると、日本人の労働力だけを考えると、外国人の労働力に頼るしかない。ただ、移民政策を取っていないのが国では、この方法は時間がかかる。しかし時間を待っているわけにはいかない。海外の労働力を供給している機関との情報交換や、具体的にどう取り組むかといった調査研究を進める必要がある。

――外国人労働者を確保するためのさまざまな制度作りや既存制度の見直し、さらには業界のイメージアップ戦略も必要だと思う。

――対処療法としては、国内の労働力の確保。労働市場を世代などに細分化し、それぞれに有効にアプローチすることだ。

――例えば高齢者、70歳くらいでも元気な方がたくさんいらっしゃる。8時間と体力がもたないが、2〜3時間ならやれるという人が結構いる。漁業に従事する人は、時季や日によって空いている時間が結構あるという。経営者は労務管理が煩雑になるが、労働力を確保するには、それぐらいしなければならぬ。

――全旅連は業務の標準化や研修といった個々の旅館では取り組みにくいことを行いたい。



多田計介・全旅連会長に聞く

定款に「観光立国の実現推進」追加へ 国の成長支える屋台骨に

5面に続く

MISAWA お客様に選ばれる宿空間へ ミサワホームのデザインリフォーム

美しい宿、お客様の記憶に残るリフォームのご提案をいたします。外国からのお客様のニーズを考慮したリフォームの実績も多数ございます。下記連絡先までお問い合わせください。



ホテル桃源様



蘇山郷様



紋別プリンスホテル様

フリーダイヤル 0120-398-330 営業時間/9:00〜18:00/土・日・祝定休 ミサワホテルリフォーム 検索

http://www.misawa.co.jp/reform/yado/ ホテル・旅館のリフォームに関する資料をご請求いただけます。

住まいを通じて生涯のおつきあい ミサワホーム ミサワホームイング



ヒルトン福岡シーホーク



熊本ホテルキャッスル

会長あいさつ

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

会長 多田 計介



謹啓 春暖の候、全国の組合員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第96回全旅連全国大会は、古くから我が国の西の玄関口として栄え、近年はアジアのインバウンド窓口としての役割を果たされておられる福岡県福岡市において開催する運びとなりました。九州では、全国的に見ても早い段階から外国人観光客の取り込みに着手し、環境整備としての社会インフラ整備や観光資源の開発に官民が一体となって果敢に取り組み、増大するアジアからの観光客をもてなす我が国の要所となっているのは周知の事実であります。昨年もおよそ2,700万人の訪日外客数があり、2016年と比べても300万人も増加しており、このことにこの九州地区が大きく貢献していることは間違いありません。

一方、一昨年の4月14日、16日に発生した熊本地震ではたくさんの方々が被災されましたことを改めてお見舞い申し上げます。我が全旅連といえども東海南海トラフ大地震をはじめとする大地震の予知や地球規模での異常気象による自然災害の増大に備えまして、災害時に地域社会に対してどう貢献していくかを明確に打ち出す時期に来ているものと思っています。そこで、自然災害等に対しては、

国や自治体と連携して全旅連として取り組んで参る所存であります。

また、本年6月から住宅宿泊事業法いわゆる民泊新法が動き始めます。私たちはこれを終わりと見るのではなく、むしろスタートとして捉え、宿泊業のプロとしての自覚を持ち、場合によっては組合員の皆様とこの制度を有効に活用する方法や営業危機に見舞われる仲間のための支援策を国等に積極的に働きかけていこうと考えております。

本大会開催に向け、地元福岡県では総力をあげて準備に取り組んでおります。本大会を意義あるものとするためにも、何卒皆様お誘い合わせのうえ多数ご参加のほどよろしくお願い申し上げます。



2018 第96回 全旅連全国大会 in 福岡

平成30年6月6日(水)

式典・懇親会〔ヒルトン福岡シーホーク〕

平成30年6月5日(火)

通常総会・前夜祭〔熊本ホテルキャッスル〕

理事長あいさつ

第96回全旅連全国大会実行委員長
福岡県旅館ホテル生活衛生同業組合
理事長 井上 善博



全旅連会員の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本年6月6日(水)に第96回を迎えます歴史ある「全旅連全国大会」を約50余年ぶりに福岡県で開催することとなりました。「ご来福(福が来る)」をコンセプトに全国の皆様を九州福岡にお迎えし「幸福」をお届けすべく日々準備を進めております。

ご周知のとおり、平成28年4月14日・16日には九州・熊本県を中心に「熊本地震」が発生し、九州全体が震災の影響を受け、物的な被害はもとより風評被害、予約のキャンセル・出控えなど観光全体の落ち込みが深刻化しました。また昨年、平成29年7月5日には福岡県・大分県の一部地域(朝倉市・東峰村・日田市等)において「九州北部豪雨災害」の天災にも見舞われました。このような災害時に、全旅連会員の皆様のあたたかい励ましのお言葉・物心両面にわたるご支援、九州への思いを寄せた様々な復興支援の数々を頂戴しました。この大会は一連の熊本地震や災害に対して「感謝」や「御礼」をお伝えする絶好の機会であると感じております。大会前日の全旅連理事会総会及び前夜祭は熊本県熊本市で開催、本大会を福岡県福岡市で開催と九州の2県を会場に設営しております。

さて、大会開催地「福岡県」は九州の玄関口として国内旅行者や急激に増加するインバウンド訪日旅行者、アジアのゲートウェイ福岡空港また特に博多港はクルーズ船寄港で全国でもトップクラスになるなど、「インバウンド受入先進県」といわれるまでになりました。

このたび福岡県ではユネスコの世界文化遺産に「神宿る島 宗像・沖ノ島と関連遺産群」「明治日本の産業革命遺産」の登録、博多の夏の訪れを告げる「博多祇園山笠」はユネスコ無形文化遺産に登録され、菅原道真で有名な学問の神様「太宰府天満宮」「九州国立博物館」歴史や文化の町文豪北原白秋の「柳川」とこれまで以上に観光資源がクローズアップされております。全国大会の会場は、ソフトバンクホークスのベース球場「ヤフオクドーム」に隣接し、玄界灘を望む「ヒルトン福岡シーホーク」でございます。大懇親会後の福岡市内のアフターコンベンションには九州一の歓楽街「中洲」や博多の屋台が皆様のお越しを歓迎致します。訪れる皆様に楽しみや喜びそして美味しさを、魅力に溢れ見どころ沢山の福岡へお誘いあわせの上でのご来福を心よりお待ちしております。

全旅連保険は

「万一の場合に宿泊・利用客に対して十分な補償をすると共に、旅館・ホテルの経済的な負担の軽減に寄与する」ことを目的としています

保険のご相談は

事故のお受付は

全旅連保険相談室 0120-087-484
(平日09:00～17:00)で承ります

東京海上日動安心110番 0120-119-228
(24時間365日)で承ります

全旅連保険代理店

全旅連事業サービス株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5

TEL 03-3263-4429 FAX 03-3263-0220

全旅連は5月16日、東京の全国旅館会館で第21回「人に優しい地域の宿づくり賞」の第2回(最終)選考委員会を開き、最高賞の厚生労働大臣賞を熊本県旅館ホテル生活衛生同業組合に決めた。表彰式は6月6日、全旅連全国大会で行う。賞は全国各地の旅館・ホテルや旅館・ホテル組合が参加、主催する、高齢者など全ての人々に優しい配慮がなされている活動を表彰するもの。厚生労働省が後援。観光経済新聞社などが協賛している。

今回は23件がエントリー。学識経験者などで構成する選考委員会(委員長・橋本俊哉・立教大学観光学部長)が各賞を決めた。

厚生労働大臣賞の熊本県旅館ホテル生活衛生同

第21回「人に優しい地域の宿づくり賞」 全旅連会長賞は「中原別荘」 本社賞など23の受賞決まる



第2回選考委員会の様子

業組合は、平成28年の熊本地震の際、県と締結した災害協定を活用し、被災者受け入れ事業を実施。「現状把握」「協定細目の決定」「受け入れ施設への協力依頼と県への報告」などを行った。「地域の災害担当者を決めて、有事に協働できる

厚生労働大臣賞は熊本県旅組

「多田体制」2年目の課題と進路

3面から続く



—そのほか、平成30年度の主な事業計画は。
多田 国際観光旅客税法が4月11日に成立し、来年1月7日から日本人・外国人を問わず出国1回につき千円が徴収される。この税をわれわれ業界に還元してもらうよう働き掛けたい。
国際観光サービスの向上に加え、旅行者の安心安全対策、災害対策など、お金が掛かることに充てる。
災害時のために、宿泊業界内の連携機能を構築する。どこかの地域が被災した場合、全国の宿泊施設の備蓄物を被災地の宿泊施設に送り、そこで被災者に提供する。

災害対策に税の還元を 外税表示維持へ運動も

あくまで自発的な行為のため、国の支援が必要だ。このような社会貢献につながる仕組み作りを税を還元してほしい。
税をヤミ民泊の排除にも使ってほしい。摘発に、行政だけでは限界があるだろう。私たちは全国津々浦々に仲間がいる。仲間のもとにはさまざまな情報が入ってくるし、すぐに行動に移せる。ただ、負担が掛かるので、国の支援をいただきたい。
来年10月から10%に上がる消費税については、外税表示も引き続き行えるよう、われわれは運動を展開する必要がある。内税表示はわれわれの経営を圧迫するし、いくらが

る。全旅連はその研修を行うが、私ぐらいの年になるとなかなか難しい(笑)。ネイティブな英語を聞き取ることがこれからの若い人たちに任せるとして、今は多機能のツールが開発されており、それをうまく活用できればと思う。名刺サイズの翻訳機があり、これは有効だと思ってる。ただ試作段階で、値段も高いだろうから、全旅連がスクールメントを生かして安価で購入し、組合員にリースするなども考えている。
外国人客対策としては、多言語のサインやディスプレイ、多彩な決済機能を持つ端末の導入、免税店登録につい

し、これら山積する問題についてひとつづつ適正に対処していきたい。
—青年部と女性経営者の会(JKK)とどう連携するか。
多田 青年部は、特に人手不足問題に危機感をもって、積極的に取り組んでもらっている。この問題については産学官連携のもと、地域でさまざまな実証実験を行いたいと思っている。成果をすくい上げモデルケースとして全国に展開したい。青年部の皆さんには協力をお願いしたい。
失敗を恐れず、果敢に挑戦する、次代を担う後継者として期待している。

税金なのか消費者が分からなくなっていく自体が問題だ。納税は国民の義務だから、分かりやすく徴収しなければならぬ。
増え続けるインバンドに対応するため、宿泊施設における多言語対応も必要だ。フロントだけでなく、他のスタッフにも言語能力が求められ

ての支援も考えたい。
今年の総会でお語りいただく事業計画は、これらのほか、IoTやAIといった新たな手法を使った生産性向上の調査研究なども盛り込んでいる。
私も就任2年目で「多田カラー」というものを出している。なければならないと思う。

先日、JKKの総会に出席した際、私の地元石川県から会員を必ず出すと約束した。JKK会員をわが石川県から出していなかったのだが、適任者がいて、早速会員になってもらった。とりあえず約束は果たせたとほっとしている(笑)。
—今年の全国大会は福岡県、通称総会熊本県で行われる。
多田 九州は地震、豪雨とここ数年災害続きだ。しかし明るく元気に、復興に向けて取り組んでおり、インバンドもアジアを中心に積極的に受け入れている。私も自身九州に行くことで元気をもらえる。この地で今、全国大会が開かれるのは大きな意義がある。
大会に集まった皆さんで九州のエネルギーを肌で感じ、吸収して、各地に戻ってそのエネルギーを還元してほしい。

製薬会社の力! さまざまなウイルスや菌に

第2類医薬品 微弱酸性次亜塩素酸水 殺菌消毒剤

フリーキラS

公式データが証明!



(製品見本)

- 人体由来のノロウイルスを完全死滅!
- インフルエンザウイルスを10秒で完全死滅!
- 熱湯やアルコールでも死なない芽胞菌を秒速殺菌!
- O-157等の食中毒の感染予防対策!

医薬品だから確実な効果 環境や人に優しい安全・安心の殺菌水

ドクターウォーター

除菌・消臭水



タバコのおいにおいに

ペットのおいにおいに

感染予防に

室内のイヤなニオイを素早く消臭!

食品や調理器具などの衛生管理に!